

# 事務事業実績測定調査

R4調書番号 046

事務事業名称	避難行動要支援者名簿作成・管理事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	2.災害時に、迅速・的確に対応できるまち									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2017(H29)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	災害対策基本法、避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	災害時に自力で避難することが困難な市民(要介護3～5の認定者、身体障害者手帳1・2級の交付を受けている者等)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	災害時に自力で避難することが困難なため、支援が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	災害により避難が必要な場合に、地域住民や行政から迅速な支援が受けられる。				
事業概要	平成25年に災害対策基本法が改正されたことを受け国から示された「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」により、市町村に「避難行動要支援者名簿」の策定が義務付けられた。高齢者、障害者(児)等のうち、災害が発生、または災害が発生する恐れがある場合に、自ら避難することが困難な人であって、円滑かつ迅速な避難のために、特に支援を要する人(避難行動要支援者)の氏名、居所、連絡先等の情報を事前に登録する名簿を作成するとともに、当該名簿を民生委員や自主防災組織等(避難支援等関係者)に配付し、災害時の避難支援体制づくりに役立てるものである。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	災害時の避難に支援が必要な市民の不安が解消される。				アウトプット (活動結果)	避難行動要支援者に係る情報を、地域住民や行政が共有できる。				インプット (活動)	避難行動要支援者名簿を作成・管理する。			
	指標説明	名簿掲載人数				名簿の配布先の数 【配布先:①枚方・交野警察署②枚方寝屋川消防組合③枚方市社会福祉協議会④自主防災組織】				名簿の更新頻度					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)		3,000	3,000	3,000		4	4	4	1	1	1	1		
	実績	12,226	17,577	15,219		4	4	4		1	0	1			
達成度	507%				100%				100%						

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.14
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.04
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,914	2,279	1,094		
	会計年度任用職員	0	0	111		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,914	2,279	1,205		
	物件費計	5,077	0	315	677	46.5%
	歳出計	6,991	2,279	1,520		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	5,077	0	315	677	

## 5. 総括的分析

総括的分析	令和5年3月末現在、避難行動要支援者名簿登載者は15,219名であり、そのうち4,709名については同意を得た。 同意を得た方は、要介護3以上で在宅、避難する手だてがない方を対象としており、施設入所者と避難する手だてがある方には同意の必要がないとされている。
-------	--

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き住民基本台帳とのデータ連携等を通じて適正な管理を行う。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 103

事務事業名称	総合福祉センター維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1976(S51)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市総合福祉センター条例及び同施行規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	総合福祉センター利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	総合福祉センターの利用者が、安全・快適に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	総合福祉センター利用者が、施設を安心して安全快適に利用することができ、心身の健康と福祉の増進を図っている。				
事業概要	<p>名称 : 枚方市総合福祉センター                  所在地: 枚方市津田東町2丁目26番1号(老人福祉センター) 、枚方市中宮山戸町12番15号(老人作業所)                  開設年月: 昭和51年4月24日(老人作業所は昭和53年4月1日)                  送迎バス: 枚方市駅等からセンターまで無料運行。決められた停留所で乗車可能。</p> <p>施設内容                  老人福祉センター: 大広間、和室(3室)、会議室(5室)、浴室、足湯、調理室、対局室、機能回復訓練室、講座室、ビリヤード室、茶室、バンパー場、体育室、グラウンド                  老人作業所(1室)                  事業内容                  高齢者の生きがいと健康増進及び市民各層との交流を図るため以下の事業を実施している。                  1. 部屋、体育室の貸し出し、2. グラウンドゴルフ講習会・料理教室など世代間交流事業、3. 老人趣味の講座・老人いきいき講座                  4. 機関誌の発行、5. 健康・生活相談、6. 風呂、7. 送迎バス運行等</p>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						総合福祉センターが適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。				
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				保守点検や修繕、補修工事の件数。				
	指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					100以内	100以内	100以内	100以内	34	34	34	34
	達成度					0%				82%				

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.32
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,190	3,143	2,500		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,190	3,143	2,500		
	物件費計	92,408	92,099	92,201	92,964	99.2%
	歳出計	95,598	95,242	94,701		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	2,608	3,289	3,777	3,786	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	281	281	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	3,203	3,289	4,058	4,067	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	89,205	88,810	88,143	88,897	

### 5. 総括的分析

総括的分析	30万円を超える修繕が必要となるような事項が令和4年度は発生しなかった。30万円以内の修繕については、指定管理者が行った。（令和2年度から指定管理料のうち年間120万円を修繕費とし、使わなかった分については精算し返してもらうことになっている） 歳入のその他には、福祉基金繰入金分（マッサージチェア分）を含む。
-------	---

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、指定管理者による運営が適切に行われるよう、施設管理運営状況の確認を行うとともに、利用者が安全に施設を利用できるよう、必要な施設保全や保守点検等を実施していく。

事務事業名称	終活支援事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち									
	実行計画名	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	市民サービス	区分	一般事務事業
事業期間	R4年度(2022年度)		年度	~	年度まで
根拠法令等	介護保険法、地域支援事業実施要綱(国)				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	自らの老後の暮らし方に関心や心配がある高齢者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	自らが希望する老後を送るために家族や友人たちと希望や心配事について話し合う機会がない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	住み慣れた地域で自らが望む暮らしを送れるよう、希望や心配事を家族や友人たちと話し合えることができる。				
事業概要	在宅医療・介護連携推進事業と連携しながら、高齢者一人ひとりが自らの望む老後を送れるよう支援していく。 ・エンディングノートの配布及び啓発事業。 ・人生会議まるわかりガイドの配布及び人生会議の啓発事業。 ・アンケート調査などにより高齢者の終活に対するニーズを把握し、必要な支援を行っていく。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	終活に対する意識が向上し、住み慣れた地域で自らが望む暮らしを送れるようエンディングノートを活用したり、家族会議で家族や友人たちと老後について話し合う機会ができる。				アウトプット (活動結果)	終活について興味を持ち、終活に関する講演会等に参加する。				インプット (活動)	エンディングノート・人生会議まるわかりガイドを配布し、終活支援等の周知を行う。			
	指標説明	講演会等への参加者アンケートで、家族会議等でエンディングノートや人生会議まるわかりガイドを活用し、「役に立った」「良かった」と回答した割合。				終活に関する講演会等への参加人数。				エンディングノート・人生会議まるわかりガイドの配布部数					
指標設定	指標種類	単位				単位				単位					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	-	-	50	55	-	100	120	140	-	1,100	1,200	1,300		
	実績	-	-	97.90		-	397	577		600	5,100	6,505			
達成度	0%				0%				0%						

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.15
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

#### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	1,964	1,172		
	会計年度任用職員	—	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	—	1,964	1,172		
	物件費計	—	0	0	0	
	歳出計	—	1,964	1,172		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	—	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	—	0	0	0	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<p>自分が望む最期について事前に考え、信頼する人たちと話し合う「人生会議」について、市民向けの2回連続講座の開催や、広報9月号での特集記事の掲載等により、「エンディングノート」や「人生会議の手引き」を広く周知・配布することで、もしもの備えに関する普及啓発を行った。また、人生会議の日に合わせた広報紙への掲載やSNSでの発信、市役所別館1階玄関・市内医療機関でのポスター掲示、市内図書館での特設コーナー設置等の啓発事業を行った。なお、医療や介護等の関係団体が参加する地域ケア推進実務者連絡協議会ワーキンググループ会議において、終活等に係る情報共有を図った。</p>
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<p>高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを送れるよう、市民及び医療と介護の専門職向けの普及啓発を引き続き行い、話し合える環境づくりを継続的に取り組んでいく。</p>

# 事務事業実績測定調査

R4調書番号 200

事務事業名称	介護認定事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	2000(H12)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	介護保険法、介護保険法施行令、介護保険法施行規則、枚方市介護保険条例、枚方市介護保険に関する規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	枚方市介護認定審査会				
事業対象	メインターゲット	介護保険サービスを必要とする要介護者			
	サブターゲット	介護保険サービスを必要とする要介護者家族			
	ターゲットが抱える課題	申請日から介護保険サービスは利用できるが、認定結果が通知されるまで認定に応じた利用限度額がわからない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	介護保険サービスが必要な時に利用できるよう、適正な要支援・要介護認定を法令で定められた期限内(30日以内)に行う。				
事業概要	1、申請受付 2、認定調査(新規申請・更新申請・区分変更申請) 3、認定調査依頼 4、主治医意見書作成依頼5、調査票・意見書の点検・データ入力 6、介護認定審査会開催 7、認定結果通知				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		法令で定められた期限内(30日以内)に、公正・公平な要支援・要介護認定を行う。				枚方市介護認定審査会を開催する。			
指標設定	指標説明	期限内に認定を行えた割合 【算出式:期限内に認定を行えた件数/認定申請受付件数×100】				認定申請受付件数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				単位	%		
						単位	件		
	指標数値					R2	R3	R4	R5
						R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)								
	実績								
	達成度	17%				0%			

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	6.62
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	20.06
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	143.00

#### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	42,108	45,256	51,715		
	会計年度任用職員	0	0	72,031		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	29,634		
	人件費計	42,108	45,256	153,380		
物件費計	88,886	110,407	134,759	141,685	95.1%	
歳出計	130,994	155,663	288,139			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	88,886	110,407	134,759	141,685		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<p>主に以下の要因によって審査判定までの時間がかかった</p> <p>①申請件数が前年度比23.0%増となり、提出された訪問調査票・主治医意見書の目視による内容確認に時間がかかった</p> <p>②対面調査が原則の訪問調査や、対象者からの問診票提出を基本とする主治医意見書は、コロナ禍にあって、ともに提出が大幅遅延した</p> <p>③新規申請における訪問調査は市調査員が行う必要があるが、新規申請件数が増加しているため、市調査員による調査が遅延する傾向にあった</p>
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	新規申請等が増加しているため、市調査員による訪問調査体制及び提出された訪問調査票・主治医意見書の目視チェック体制を今後見直していく必要がある。



# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 201

事務事業名称	介護保険円滑実施特別対策事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	大阪府介護保険円滑実施特別対策事業負担軽減等支援事業				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	<p>障害者総合支援法によるホームヘルプサービス利用において、境界層該当として、定率負担額が0円となる者であって、平成18年4月1日以降に次のいずれかに該当することとなった者。</p> <p>①65歳到達以前の概ね1年間に障害者施策によるホームヘルプサービスを利用していた者であって、65歳に到達したことで介護保険の対象となった者。</p> <p>②特定疾病によって生じた身体上または精神上的の障害が原因で、要介護または要支援の状態となった40歳から64歳までの者。</p>			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	障害者ホームヘルプサービスで定率負担額が0円であるが、介護保険の対象となることにより、利用者負担額が発生し、経済的な負担となる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	介護保険訪問介護の利用にあたって、障害者ホームヘルプサービスと同様に利用者負担額が0円となり、負担が増えることなく、継続したサービスの利用が可能となる。				
事業概要	<p>&lt;利用者負担軽減措置&gt;</p> <p>障害者総合支援法によるホームヘルプサービスの利用において境界層該当者(※)として定率負担額が0円となっている者であって、平成18年4月1日以降に一定の要件に該当するものを対象に、利用者負担額を全額免除するもの。※境界層該当者とは、定率負担額を下げることにより生活保護を必要としない状態になる者。</p>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		経済的な負担が増えることなく、継続して、介護保険訪問介護サービスを利用することができる。	利用者負担軽減措置を実施する。
指標設定	指標説明	利用者負担額が0円となる割合 【算出式:利用者負担額が0円となった人数/利用者負担軽減措置人数×100】	利用者負担軽減措置人数
	指標種類	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位   %	単位   人
	目標 (見込み)	R2   R3   R4   R5	R2   R3   R4   R5
	実績	100   100   100   100	0   0   0   0
達成度	200%		

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.01
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	160	157	78		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	160	157	78		
	物件費計	0	0	0	85	0.0%
	歳出計	160	157	78		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	138	0	0	63	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	63	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	22	

## 5. 総括的分析

総括的分析	平成18年度以降、対象者はなし。この制度については、生活保護水準の収入状況ではない者が介護サービスを受け自己負担額を支払うことで、生活保護水準を下回る収入状況にならないように、自己負担額を0円にすることで救済を行うものである。現状、対象者はいないが、該当者があれば、大阪府の補助金要綱及び枚方市の実施要綱に基づき実施していく。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	国の通達及び要綱に基づく事務であるため、国の動向を注視しながら取り組んでいく。

事務事業名称	介護保険給付事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	2000(H12)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	介護保険法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	介護保険サービス利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	日常生活において介護や支援を必要とする人が、状態に応じた適切な介護給付サービス、介護予防給付サービスを受けることにより、できる限り自立した生活を送ること。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	介護保険サービスを受けるために必要な介護保険の資格、要介護・要支援認定および介護給付に関する情報を保険者が包括的に管理することにより、被保険者が迅速かつ適切に必要な介護保険サービスを受けることができる。				
事業概要	○介護保険請求審査・保険者共同処理等業務(大阪府国民健康保険団体連合会に委託実施) ○認定支援事務、保険料・給付事務、高齢者福祉関係事務の業務に関して、電子計算システムを導入し対応 ○システム再構築により、さらなる事務の効率化を図る				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		被保険者が迅速かつ適切に必要な介護保険サービスを受けることができる。	介護保険サービスを受けるために必要な介護保険の資格、要介護・要支援認定および介護給付に関する情報を保険者が包括的に管
指標設定	指標説明	介護保険給付件数	要介護・要支援認定者数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 件	単位 人
	目標 (見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	1,966,617 2,031,762 2,090,628	21,596 21,734 22,001
達成度	100%		100%
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		介護保険事務システムが適正に運用される。	介護保険事務システムについて、適宜、改修等を行う。
指標設定②	指標説明	システム障害発生件数	システム保守点検回数
	指標種類	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 件	単位 回
	目標 (見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	0 0 0 0	12 12 12 12
達成度	100%		

ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						介護保険請求審査業務が適正に行われる。				介護保険請求審査業務を委託する。			
指標設定 ③	指標説明					返戻により更生された件数				請求返戻数			
	指標種類					単位 件				単位 件			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)							10,000	10,000			10,000	10,000
	実績							10,000				10,000	
達成度						0%				0%			

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.13
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.30
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	17,784	17,521	16,640		
	会計年度任用職員	0	0	1,081		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	17,784	17,521	17,721		
	物件費計	88,604	82,074	53,627	57,544	93.2%
歳出計		106,388	99,595	71,348		
歳入	国庫支出金	0	8,600	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	6,681	6,785	6,805	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	24,800	15,281	6,785	6,805	
一般財源(物件費に充当されるもの)		63,804	66,793	46,842	50,739	

### 5. 総括的分析

総括的分析	要支援・要介護状態にある対象者に対し、必要となる介護サービスの受給に繋げることができている。
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も引き続き、軽度状態から必要となる介護サービスを受けることに繋げ、重症化の防止などを図っていく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 204

事務事業名称	介護保険特別会計繰出金事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2000(H12)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	介護保険法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	介護保険法に基づく一般会計から介護保険特別会計への繰出金の支出管理を適正に行う必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	介護保険法に基づく一般会計から介護保険特別会計への繰出金の支出管理が適正に行われている状態。				
事業概要	<b>【市町村の負担割合】</b> 保険給付費総額の12.5% 地域支援事業費のうち総合事業については12.5%、包括的支援事業・任意事業費については19.25% 人件費などの事務経費については100%				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)			アウトプット (活動結果)			インプット (活動)			
指標設定	指標説明										
	指標種類										
	指標数値	目標 (見込み)									
		実績									
	達成度										

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	1,595	1,571	1,562		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,595	1,571	1,562		
	物件費計	4,977,598	5,143,462	5,168,251	5,395,108	95.8%
	歳出計	4,979,193	5,145,033	5,169,813		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均物件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	4,977,598	5,143,462	5,168,251	5,395,108	

## 5. 総括的分析

総括的分析	介護保険法に基づく市町村(保険者)の負担金として、一般会計より介護保険特別会計へ繰出しを行う。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	適切な処理を行う。

# 事務事業実績測定調書

事務事業名称	介護保険料賦課徴収事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的業務事業
事業期間	2000(H12)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方自治法第231条、介護保険法、枚方市介護保険条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市に現在住民票がある、または、以前住民票があり市外住所地特例施設に住 民票がある65歳以上の人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	前年の被保険者・世帯の課税・所得状況で保険料を賦課しているが、様々な理由で 被保険者に賦課した保険料が未納となっている。			
	ターゲットが抱える課題	介護保険事業の円滑な実施のため、第1号被験者に係る保険料を賦課・徴収する 必要がある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	介護保険料の徴収率100%により被保険者が等しく保険料を負担し、介護保険制度が円滑に実施されて いる状態。				
事業概要	第1号被保険者に係る保険料を賦課・徴収する。滞納者に対して、督促状・催告書の送付、納付相談の実 施、さらに債権回収課との連携を図ることで、滞納額の減少に取り組んでいる。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			介護保険第1号被保険者に係る保 険料を徴収する。				介護保険第1号被保険者に係る保 険料を賦課する。			
指標 設定	指標説明		保険料徴収率(現年度) 【算出式: 収納額 / 調定額 × 100 】				賦課対象者数			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値			単位	%		単位	人		
	目標 (見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績		99.25	99.36	99.37	99.37	112,154	114,050	114,202	114,231
達成度		99.35	99.43	99.53		113,403	113,790	113,807		
			100%				100%			
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			滞納に係る保険料徴収率が向上 する。				督促状・催告書の送付、納付相談 の実施など、滞納者への対策に取り 組む。			
指標 設定②	指標説明		保険料徴収率(滞納繰越)				督促状・催告書送付件数			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値			単位	%		単位	件		
	目標 (見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績		19.32	18.89	19.24	19.24		19,031	19,031	19,031
達成度		17.90	20.80	28.76		19,040	20,616	14,827		
			149%				122%			

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	4.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.51
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	40,054	38,499	31,248		
	会計年度任用職員	0	0	4,217		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	40,054	38,499	35,465		
物件費計	53,872	38,548	39,069	41,555	94.0%	
歳出計	93,926	77,047	74,534			
歳入	国庫支出金	15,625	7,029	1,288	1,288	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	896	7,908	9,695	8,453	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	16,521	14,937	10,983	9,741	
一般財源（物件費に充当されるもの）	37,351	23,611	28,086	31,814		

### 5. 総括的分析

総括的分析	債権回収課への移管をはじめ、督促・催告書の送付など、滞納者への積極的な納付勧奨を行うことで、収納率の向上を図ることができた。
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も引き続き、収納率向上に向けて取り組みを推進していく。



# 事務事業実績測定調査

R4調書番号 206

事務事業名称	給付費負担金交付事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事业	区分	非選択的事務事業
事業期間	2000(H12)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	介護保険法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	介護サービス事業者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	介護報酬請求事務を正確に行い、介護保険から適正な金額の介護報酬の支払いを受ける。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	介護報酬の請求・支払事務を大阪府国民健康保険団体連合会に委託することにより、事務の効率化につながり、迅速かつ正確な報酬の支払いが可能となる。				
事業概要	○介護保険法で定めるサービスの主なもの 訪問介護・訪問看護・通所介護・通所リハビリテーション・短期入所生活介護・短期入所療養介護・特定施設入居者生活介護・小規模多機能型居宅介護・認知症対応型共同生活介護・介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護療養型医療施設・福祉用具貸与・居宅介護支援 等				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		介護サービス事業者に、適正に介護報酬が支払われる。				介護報酬の支払い額				大阪府国民健康保険団体連合会に対して、介護報酬の請求・支払事務に係る負担金を交付する。			
指標設定	指標説明					介護報酬の支払い額				負担金の交付見込み額			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					32,673,812	30,837,817	31,450,225	32,673,812	32,673,812	30,837,817	31,450,225	32,673,812
	実績					29,293,412	30,237,246	30,850,294		29,293,412	30,237,246	30,850,294	
達成度					98%				98%				

## 3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	1.05
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.91
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	14,435	14,221	8,203		
	会計年度任用職員	0	0	6,859		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	14,435	14,221	15,062		
物件費計	30,296,517	31,213,372	31,838,601	32,560,279	97.8%	
歳出計	30,310,952	31,227,593	31,853,663			
歳入	国庫支出金	6,765,055	6,791,279	7,147,022	7,045,362	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	4,297,527	4,427,830	4,472,265	4,575,933	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	15,043,910	15,626,462	15,760,101	15,840,968	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	26,053,092	26,845,571	27,379,388	27,462,263	
一般財源（物件費に充当されるもの）	4,243,425	4,367,801	4,459,213	5,098,016		

## 5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、介護サービスの受給が減少となったことから、介護サービス利用額(国民健康保険連合会で審査支払を実施しているもののみ)が目標数値を下回る結果となった。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も引き続き、介護サービスの適切な実施に努めていく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 207

事務事業名称	地域支援事業任意事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名	9-3.介護事業の充実									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	介護保険法				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	①市民税非課税世帯に属する要介護3から要介護5の認定を受けた在宅の要介護者 ②介護事業所を利用している要支援・要介護認定者とその家族			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	大きな介護用品(オムツ等)を購入し運搬することや頻繁な買い物のための外出が困難、またお世話になっているという思いから多少の不都合や不具合を我慢してしまい大きなトラブルに発展する、病気や老い、孤独など様々な不安を抱えている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	介護保険事業の運営の安定化が図られることで、家族の身体的・精神的・経済的負担の軽減や介護サービスの質の向上、生活における不安が軽減され、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができている状態。				
事業概要	①本市に住所を有し、市民税非課税世帯に属する要介護度3から要介護度5の認定を受けた在宅の要介護者を対象に、介護用品を支給する。 ②派遣依頼のあった介護サービス事業者等へ介護相談員が定期的に訪問し、事業者と利用者または家族の橋渡しをすることで、利用者の疑問や不満、不安の解消を図ると同時に事業所のサービスの質の向上を図る。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができる。					身体的及び経済的負担の軽減が図られる。				対象者に介護用品を支給する。			
指標設定	指標説明	利用者のうち、前年度から継続して利用している人数 【算出式:前年度からの継続利用者数】					低所得者に対する経済的負担の軽減を図った1人あたりの平均利用金額 ※ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める「在宅介護用品支給事業」支給対象者数(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)				在宅介護用品支給事業の利用者数 ※ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める「在宅介護用品支給事業」支給対象者数(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)			
		単位 人					単位 円				単位 人			
	指標種類	増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
目標 (見込み)	510	510	510	510	5,219	5,194	5,194	5,194	10,161	5,989	6,472	6,801		
実績	298	306	347		4,145	4,173	4,167		5,987	5,692	6,017			
達成度	68%					80%				93%				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができる。				利用者の疑問や不満、不安の解消を図ると同時に事業所のサービスの質の向上を図る。				派遣依頼のあった介護サービス事業者等へ介護相談員が定期的に訪問する。			
指標設定②	指標説明	利用者のうち、前年度から継続して利用している人数 【算出式:前年度からの継続利用者数】				介護相談員の延べ派遣回数				介護相談員派遣人数			
		単位		人		単位		回		単位		人	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	510	510	510	510	1,000	1,000	1,000	1,000	40	40	40	40
	実績	298	306	347		0	0	0		0	0	0	
達成度	68%				0%				0%				

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.22
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.13
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	1,595	1,729	1,719		
	会計年度任用職員	0	0	274		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,595	1,729	1,993		
	物件費計	27,783	26,967	28,397	39,371	72.1%
	歳出計	29,378	28,696	30,390		
歳入	国庫支出金	12,652	11,375	14,027	15,722	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	5,808	5,688	7,014	7,860	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	3,230	4,741	1,986	1,980	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	21,690	21,804	23,027	25,562	
	一般財源(物件費に充当されるもの)	6,093	5,163	5,370	13,809	

### 5. 総括的分析

総括的分析	在宅の要介護者777人に対して介護用品の支給を行った。 介護サービス相談員派遣事業については、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、令和2年4月から派遣を見合わせており、活動の全面休止が継続している。
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	介護用品支給事業については、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、引き続き事業を実施する。また、介護サービス相談員の派遣再開の時期を検討していく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	地域支援事業任意事業(介護給付等費用適正化事業等)										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	介護保険法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	介護保険の被保険者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	所得に応じた適正な金額の介護保険料を納付し、自立支援および要介護状態の重度化防止に資する介護保険サービスが受けられること。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	適切なケアマネジメントによる介護保険サービスが提供されることにより、保険給付が適正化され、介護保険料の上昇が抑制されるとともに、自立支援および要介護状態の重度化防止につながり、被保険者の生活の質が向上する。				
事業概要	①ケアマネジメント活動支援事業 ②要介護認定の適正化 ③ケアプラン点検の実施や給付費明細通知の送付 ④福祉用具に関する講習会及び住宅改修の理由書作成支援 ⑤住宅改修現地調査				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		介護保険事業の運営の安定化が図られる。				適切に介護保険サービスを提供する。				適切なケアマネジメントに向けた活動を効率的に支援する。			
指標設定	指標説明	指摘事項に対する改善率 【算出式:ケアプランの改善が必要な件数/ケアプラン点検の件数×100】				ケアプラン作成件数				ケアプラン点検件数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	100	100	100	100	137,816	143,002	148,102		37	61	65	
達成度	100%				102%				108%				
ロジックモデル②		介護保険事業の運営の安定化が図られる。				適切に介護保険住宅改修費を支給する。				住宅改修現地調査を実施する。			
指標設定②	指標説明	指摘事項に対する改善率 【算出式:ケアプランの改善が必要な件数/ケアプラン点検の件数×100】				支給件数				調査件数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	100	100	100	100	1,656	1,752	1,812	1,884	24	24	24	24
達成度	100%				100%				100%				

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.35
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,988	3,929	2,734		
	会計年度任用職員	0	0	363		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,988	3,929	3,097		
物件費計	11,260	10,538	12,203	20,826	58.6%	
歳出計	15,248	14,467	15,300			
歳入	国庫支出金	5,128	4,445	6,023	6,751	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	2,354	2,223	3,012	3,375	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	1,296	1,852	838	841	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	8,778	8,520	9,873	10,967	
一般財源（物件費に充当されるもの）	2,482	2,018	2,330	9,859		

### 5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の感染対策を考慮しつつ、様々な調査手法を用いて、適正なケアプランの作成や住宅改修の確認などを行い、介護状態の改善や自立に繋げる支援が行えたものと考えている。
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も引き続き、様々な手法を用いて、適正なケアプランの作成や住宅改修などに繋げていく。

事務事業名称	ひらかた高齢者保健福祉計画21推進事業										
測定年度	2022(R4)年度		部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1999(H11)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	老人福祉法、介護保険法、枚方市社会福祉審議会条例、枚方市社会福祉審議会規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会				
事業対象	メインターゲット	高齢者			
	サブターゲット	介護保険サービス事業者			
	ターゲットが抱える課題	高齢者が可能な限り住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域全体で高齢者を支える仕組みづくりや、高齢者が継続して在宅生活ができる環境の整備が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	高齢者が個々の心身の状態や生活状況に応じて、いつまでも住み慣れた地域で生きがいを持ち、元気で自分らしい生活を送ることができる。				
事業概要	老人福祉法及び介護保険法の規定に基づき、老人福祉計画と介護保険事業計画を「ひらかた高齢者保健福祉計画21」として一体的に策定することで、高齢者福祉事業の供給体制の確保及び介護保険事業に係る保険給付を円滑に実施していく。計画は、3年を1期とした計画期間とし、介護給付等対象サービスや、地域支援事業の必要量の見込みなどについて定めるとともに、介護保険料の改定も盛り込んだ計画とするもの。調査審議は、枚方市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会で行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	「ひらかた高齢者保健福祉計画21」に係る取り組みが確実に推進される。				インプット (活動)	「ひらかた高齢者保健福祉計画21」の改訂および推進に係る事務を実施する。						
	指標説明					計画の進捗状況 【算出式:保険給付費及び地域支援事業費の実績値/計画値×100】 ((ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)					計画の進捗状況を調査・把握する回数							
指標設定	指標種類					単位	%				単位				回			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	目標 (見込み)					100	100	100	100	R2	R3	R4	R5	3	3	3	3	
	実績					90.30	95.24	95.09		4	2	3						
達成度					95%				100%									

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.73
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	11,165	5,500	5,703		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	11,165	5,500	5,703		
	物件費計	2,024	0	3,034	4,099	74.0%
歳出計		13,189	5,500	8,737		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	1,616	3,734	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	1,616	3,734	
一般財源（物件費に充当されるもの）		2,024	0	1,418	365	

## 5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度は第8期計画の中間年度であり、介護予防・日常生活支援総合事業の円滑な実施、認知症支援策及び在宅医療・介護連携事業の推進、介護保険施設等の整備など、第8期計画に掲げる各取り組みを進めた。 また、令和6年度から令和8年度を計画期間とする第9期計画の策定に向け、国の基本指針に基づき、基礎資料となる高齢者実態調査を行った。
-------	--

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	ひらかた高齢者保健福祉計画21(第8期)に掲げる事項について、適切な進捗管理を行うとともに、介護保険制度の改正を踏まえたひらかた高齢者保健福祉計画21(第9期)の策定を進める。



事務事業名称	在日外国人特別給付金支給事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1996(H8)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市在日外国人等高齢者給付金支給要綱				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	外国人に対する国民年金法の適用前から居住する在日外国人等で、老齢基礎年金等の支給を受けられない高齢者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	老齢基礎年金等の支給を受けられず、生活維持に不安がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	老齢基礎年金等の支給を受けられない在日外国人高齢者等が給付金を受けることで生活維持を図る。				
事業概要	老齢基礎年金等の支給を受けられない在日外国人高齢者等に、年2回給付金を支給する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		老齢基礎年金の支給を受けられない在日外国人高齢者の生活が維持される。				在日外国人特別給付金を支給する。				在日外国人特別給付金に係る支給要件を確認する。			
指標設定	指標説明	在日外国人特別給付金の給付額				在日外国人特別給付金を給付した人数				在日外国人特別給付金の年度当初の給付対象者数			
		単位		円		単位		人		単位		人	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	240,000	240,000	240,000	240,000	2	2	2	2	2	2	2	2
実績	240,000	110,000	0		2	1	0		2	1	0		
達成度	0%				0%				0%				

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.01
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	160	629	78		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	160	629	78		
	物件費計	240	110	0	120	0.0%
	歳出計	400	739	78		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	240	110	0	120	

## 5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度より、対象要件に該当する者がいなくなったため、支給なし。制度は継続。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	転出等により、対象要件に該当する者からの申請があり次第、給付金の支給を行う。

事務事業名称	在宅福祉サービス事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名	9-3.介護事業の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市緊急通報体制整備事業実施要綱、枚方市高齢者日常生活用具給付等事業実施要綱等				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	①概ね65歳以上のひとり暮らしの方、昼間独居の方等 ②概ね65歳以上のひとり暮らしの方で安否の確認を必要とする方 ③心身の機能低下により、火災防止の必要な概ね65歳以上のひとり暮らしの方 ④在宅で介護を受けている概ね65歳以上の方(介護度に応じた条件あり)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	家庭内で病気や事故等の緊急事態が発生した場合に助けを求める人がいない、また、心身機能の変化の不安やささいな困り事の相談先がない、心身機能の低下により火災発生の恐れや理美容院へ通うことができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	住み慣れた地域で適切な支援を受けることができ、誰もが安心して生活することができること。				
事業概要	①緊急通報装置の貸与 ②電話による安否確認と相談 ③日常生活用品(電磁調理器)の支給 ④理美容院へ行くことが困難な高齢者に在宅での理美容サービスを提供				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができる。				高齢者が、住み慣れた地域で適切な支援を受けることができる。 (緊急通報装置貸与)				高齢者の在宅生活を支援するためのサービスを実施する。(緊急通報装置貸与)			
指標設定	指標説明	利用者のうち、前年度から継続して利用している人数 【算出式:前年度からの継続利用者数】				消防署の通報のうち正報の割合 【算出式:正報件数/通報件数×100】				緊急通報装置の利用人数(当該年度末)			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	2,750	2,750	2,750	2,750	25	30	35	40	3,000	3,000	3,000	3,000
	実績	2,578	2,418	2,379		23	44	48		2,860	2,676	2,750	
達成度	87%				137%				92%				
ロジックモデル②		住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができる。				高齢者が、住み慣れた地域で適切な支援を受けることができる。 (電話による安否確認)				高齢者の在宅生活を支援するためのサービスを実施する。(電話による安否確認)			
指標設定②	指標説明	利用者のうち、前年度から継続して利用している人数 【算出式:前年度からの継続利用者数】				電話による安否確認実施回数				電話による安否確認サービス受給者数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	2,750	2,750	2,750	2,750	1,080	1,080	1,080	1,260	90	90	90	90
	実績	2,578	2,418	2,379		834	703	653		64	53	54	
達成度	87%				60%				60%				

ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができる。				高齢者が、住み慣れた地域で適切な支援を受けることができる。 (日常生活用品(電磁調理器)の支給または貸与)				高齢者の在宅生活を支援するためのサービスを実施する。(日常生活用品(電磁調理器)の支給または貸与)			
指標設定③	指標説明	利用者のうち、前年度から継続して利用している人数 【算出式:前年度からの継続利用者数】				日常生活用品の支給または貸与累計数(平成30年度以降)				日常生活用品の支給または貸与数			
		単位		人		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	2,750	2,750	2,750	2,750	22	32	42	52	10	10	10	10
	実績	2,578	2,418	2,379		24	33	42		8	9	9	
	達成度	87%				100%				90%			
ロジックモデル④		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができる。				高齢者が、住み慣れた地域で適切な支援を受けることができる。 (理美容サービス)				高齢者の在宅生活を支援するためのサービスを実施する。(理美容サービス)			
指標設定④	指標説明	利用者のうち、前年度から継続して利用している人数 【算出式:前年度からの継続利用者数】				理美容サービス受給者数				理美容サービス実施事業者数			
		単位		人		単位		人		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	2,750	2,750	2,750	2,750	100	100	100	100	110	110	110	110
	実績	2,578	2,418	2,379		100	110	110		107	95	95	
	達成度	87%				110%				86%			

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.45
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,988	3,929	3,515		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,988	3,929	3,515		
	物件費計	45,215	43,064	41,466	44,845	92.5%
	歳出計	49,203	46,993	44,981		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	377	384	40,449	40,379	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	44,302	384	40,449	40,379	
	一般財源(物件費に充当されるもの)	913	42,680	1,017	4,466	

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。

## 5. 総括的分析

総括的分析	緊急通報装置の貸与(設置台数)2750人(うち新規申請者数:270人) 電話による安否確認と相談(登録数)54人(うち新規申請者数:8人) 日常生活用品(電磁調理器)の新規申請数 9人 理美容サービス登録者数 173人、総利用回数 334回 歳入の「その他」には、地域福祉推進基金繰入金分を含む。住み慣れた地域で生活できるよう必要な支援を提供できた。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	社会状況の変化に伴うニーズを把握しながら、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、引き続き事業を継続する。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 221

事務事業名称	高齢者福祉タクシー基本料金補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名	9-2.高齢者の生きがいづくりと外出支援									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1991(H3)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市福祉タクシー基本料助成事業実施要綱				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	要介護認定を受け、在宅で介護を受けている65歳以上の寝たきり高齢者で、生計中心者の市民税所得割額が12万円以下の世帯に属する人			
	サブターゲット	高齢者福祉タクシー登録事業者			
	ターゲットが抱える課題	寝たきりなどで外出が困難であり、通院等外出時の交通費の経済的負担がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	経済的負担の軽減や日常生活の利便を図ることで、多くの高齢者が在宅生活を継続することができる。				
事業概要	寝たきりなどで外出が困難な低所得高齢者にタクシー基本料金(2回/月)を助成する。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		低所得高齢者が継続してタクシー基本料金の助成を受けることで、経済的負担の軽減や日常生活の利便を図ることができる。				通院等外出の機会が増える。				対象者に、タクシー基本料金を助成する。			
指標設定	指標説明	継続利用者数の割合 【算出式:前年度からの継続利用者数/利用者数×100】				福祉タクシー基本料助成利用券の延べ利用回数				福祉タクシー基本料助成利用券の利用者数			
		単位 %				単位 回				単位 人			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	50	50	50	50	1,230	1,230	1,230	1,230	126	126	126	126
	実績	59	55	61		941	1,159	1,147		91	107	103	
	達成度	122%				93%				82%			

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,595	1,571	1,562		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,595	1,571	1,562		
	物件費計	651	819	820	1,133	72.4%
	歳出計	2,246	2,390	2,382		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	651	819	820	1,133	

## 5. 総括的分析

総括的分析	継続利用者の割合については、想定を上回ったが、利用回数・利用者数については新型コロナウイルス感染症の影響により利用者の外出の機会が控えられたため、目標を下回ったと想定される。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、寝たきりなどで外出困難な高齢者の経済的負担の軽減及び日常生活の利便等を図る。

# 事務事業実績測定調査

R4調査番号 224

事務事業名称	市立くずは北デイサービスセンター維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2015(H27)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市デイサービスセンター条例、介護保険法、老人福祉法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市立くずは北デイサービスセンター利用者			
	サブターゲット	在宅で介護をしている家族			
	ターゲットが抱える課題	安全に利用できる施設への通所により、心身の健康と福祉の増進が図られ、在宅にて介護を継続することができる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安全に利用できるような必要な施設保全や保守点検等が実施され、市立くずは北デイサービスセンター利用者の心身の健康と福祉の増進が図られている状態。				
事業概要	平成18年3月まで枚方市立くずは北デイサービスセンターの運営及び維持管理業務を社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会に委託していた。平成18年4月からは、指定管理者制度を導入し、指定管理者として社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会が管理運営を行っている。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						市立くずは北デイサービスセンターが適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				保守点検や修繕、補修工事の件数。			
	指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値					単位	%			単位	件		
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					100以内	100以内	100以内	100以内	23	23	23	23
達成度					200%				139%				

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00



(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,595	1,571	1,562		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,595	1,571	1,562		
	物件費計	23,568	5,429	0	0	
	歳出計	25,163	7,000	1,562		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	10,500	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	19,147	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	4,421	5,429	0	0	

## 5. 総括的分析

総括的分析	修繕等に係る経費で積算金額が、30万以上の事案(保全計画含む)は市負担で修繕等が0件、30万未満の事案は指定管理者負担で6件、他に指定管理者が8件の建築設備等保守管理業務保守点検等を行った。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、指定管理者による運営が適切に行われるよう、施設管理運営状況の確認を行うとともに、利用者が安全に施設を利用できるよう、必要な施設保全や保守点検等を実施していく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 225

事務事業名称	市立デイサービスセンター維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1997(H9)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市デイサービスセンター条例、介護保険法、老人福祉法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市立デイサービスセンター利用者			
	サブターゲット	在宅で介護をしている家族			
	ターゲットが抱える課題	安全に利用できる施設への通所により、心身の健康と福祉の増進が図られ、在宅にて介護を継続することができる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安全に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等が実施され、枚方市立デイサービスセンター利用者の心身の健康と福祉の増進が図られている状態。				
事業概要	平成18年3月まで枚方市立デイサービスセンターの運営及び維持管理業務を社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会に委託していた。平成18年4月からは、指定管理者制度を導入し、指定管理者として社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会が管理運営を行っている。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						市立デイサービスセンターが適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合 【算出式:決算額/当初予算額×100】				保守点検や修繕、補修工事の件数			
	指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値					単位	%			単位	件		
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					100以内	100以内	100以内	100以内	28	28	28	28
達成度					119%				111%				

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	1,595	1,571	1,562		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,595	1,571	1,562		
	物件費計	2,968	29,898	3,617	4,250	85.1%
	歳出計	4,563	1,571	5,179		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	879	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	2,089	29,898	3,617	4,250	

## 5. 総括的分析

総括的分析	修繕等に係る経費で積算金額が、30万以上の事案(保全計画含む)は市負担で修繕等が2件、30万未満の事案は指定管理者負担が9件、他に指定管理者が14件の建築設備等保守管理業務保守点検等を行った。
-------	--

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、指定管理者による運営が適切に行われるよう、施設管理運営状況の確認を行うとともに、利用者が安全に施設を利用できるよう、必要な施設保全や保守点検等を実施していく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 226

事務事業名称	市立特別養護老人ホーム維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1993(H5)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立特別養護老人ホーム条例、介護保険法、老人福祉法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立特別養護老人ホーム利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	利用者の心身の健康と福祉の増進が図られ、また安全に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安全に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施され、枚方市立特別養護老人ホーム利用者が心身の健康と福祉の増進が図られている状態。				
事業概要	平成18年3月まで市立特別養護老人ホームの運営及び維持管理業務を社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会に委託していた。平成18年4月からは、指定管理者制度を導入し、指定管理者として社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会が管理運営を行っている。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
			市立特別養護老人ホームが適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。						
指標設定	指標説明	修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				保守点検や修繕、補修工事の件数							
	指標種類					単位	%	単位	件				
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	23	23	23	23
	実績					2	79.20	80.99		23	30	30	
達成度						119%				70%			

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,595	1,571	1,562		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,595	1,571	1,562		
	物件費計	2,968	29,898	3,617	4,250	85.1%
	歳出計	4,563	31,469	5,179		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	879	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	2,089	29,898	3,617	4,250	

## 5. 総括的分析

総括的分析	修繕等に係る経費で積算金額が、30万以上の事案(保全計画含む)は市負担で修繕等が2件、30万未満の事案は指定管理者負担が14件、他に指定管理者が14件の建築設備等保守管理業務保守点検等を行った。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、指定管理者による運営が適切に行われるよう、施設管理運営状況の確認を行うとともに、利用者が安全に施設を利用できるよう、必要な施設保全や保守点検等を実施していく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 227

事務事業名称	総合福祉会館デイサービスセンター維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1998(H10)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市デイサービスセンター条例、介護保険法、老人福祉法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	総合福祉会館デイサービスセンター利用者			
	サブターゲット	在宅で介護をしている家族			
	ターゲットが抱える課題	安全に利用できる施設への通所により、心身の健康と福祉の増進を図れ、在宅にて介護を継続することができる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安全に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施され、総合福祉会館デイサービスセンター利用者の心身の健康と福祉の増進が図られている状態。				
事業概要	平成18年3月まで枚方市立総合福祉会館デイサービスセンターの運営及び維持管理業務を社会福祉法人四天王寺福祉事業団に委託していた。平成18年4月からは、指定管理者制度を導入し、指定管理者として社会福祉法人四天王寺福祉事業団が管理運営を行っている。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		総合福祉会館デイサービスセンターが適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。				
指標設定	指標説明	修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合 【算出式:決算額/当初予算額×100】				保守点検や修繕、補修工事の件数				
	指標種類	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績	100以内	100以内	100以内	100以内	2	2	2	2
	達成度	0%				200%				

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.17
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

#### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	1,595	1,571	1,328		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,595	1,571	1,328		
	物件費計	495	3,470	609	0	
歳出計		2,090	5,041	1,937		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		495	3,470	609	0	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	修繕等に係る経費で積算金額が、1件30万円以上の事案(保全計画含む)は市が負担で、1件30万円未満の事案は指定管理者が負担することになっているが、令和4年度は修繕等はなかった。 総合福祉会館の建築設備等保守管理業務は他の指定管理者が行っており、長寿・介護保険課所管の総合福祉会館ダイサービスセンターの指定管理者は必要に応じて按分で費用負担している。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、指定管理者による運営が適切に行われるよう、施設管理運営状況の確認を行うとともに、利用者が安全に施設を利用できるような、必要な施設保全や保守点検等を実施していく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 232

事務事業名称	高齢者お出かけ推進事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名	9-2.高齢者の生きがいづくりと外出支援									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2019(H31)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	高齢者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	高齢者が出かける意欲・体力がない。			
	ターゲットが抱える課題	高齢者が出かける場所、仲間をつくる場がない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	高齢者が出外する機会が増え、健康づくりや介護予防につながる。				
事業概要	高齢者の外出支援につながる事業に参加した65歳以上の市民を対象にひらかたポイントを付与する。ひらかたポイントは市内の協力店舗で1ポイント1円としての利用や京阪バスポイントへの交換ができるほか、年度内に65歳以上となる市民(市内在住・在職)の方はタクシークーポン(大阪タクシー共通乗車券)にも交換できる。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		高齢者が出外する機会が増え、健康づくりや介護予防につながる。				ひらかたポイントを貯めるため、外出支援につながる事業等に参加する高齢者が増加する。				高齢者お出かけ推進事業の対象事業を実施する。			
指標設定	指標説明	高齢者お出かけ推進事業の延べ参加者数				高齢者お出かけ推進事業の付与ポイント数				高齢者お出かけ推進事業の対象事業			
		単位		人		単位		ポイント		単位		事業	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	-	-	14,000	14,000	-	-	250,000	250,000	-	-	11
	実績	-	-	12,517		-	-	266,640		-	-	11	
	達成度	89%				107%				100%			
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		高齢者が出外する機会が増え、健康づくりや介護予防につながる。				高齢者専用ポイントを貯めるため、外出支援につながる事業等に参加する高齢者が増加する。				65歳以上の市民を対象に、「高齢者お出かけ推進手帳」を配布する。			
指標設定②	指標説明	高齢者お出かけ推進事業の延べ参加者数				高齢者お出かけ推進事業の付与ポイント数				「高齢者お出かけ推進手帳」の配布部数			
		単位		人		単位		ポイント		単位		部	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	101,000	101,000	-	-	1,152,000	1,152,000	-	-	10,000	10,000	-
	実績	2,557	22,227	-	-	82,860	314,300	-	-	2,894	1,693	-	-
	達成度												



### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.19
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,595	1,571	1,484		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,595	1,571	1,484		
物件費計	1,575	1,560	1,560	1,560	100.0%	
歳出計	3,170	3,131	3,044			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	1,575	1,560	1,560	1,560		

### 5. 総括的分析

総括的分析	令和元年度から、65歳以上の方を対象に「高齢者お出かけ推進手帳」を配布し、介護予防のイベントや各種講座等への参加に対して高齢者専用ポイントを付与する事業として開始。令和4年度より高齢者お出かけ推進手帳・高齢者専用ポイント(シール)を廃止し、ひらかたポイントの直接付与に変更の上、対象事業を見直した。また、手帳・シールの廃止や手帳に貯めたポイントの移行について周知を行った。ひらかたポイントを直接付与するようになったことに伴い、参加者数・付与ポイント数は一部の事業で65歳未満を含むほか、一部の参加者数はポイント付与人数となっている。
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和4年度より高齢者お出かけ推進手帳・高齢者専用ポイント(シール)を廃止し、ひらかたポイントを直接付与しており、合わせて対象事業の見直しを行った。令和5年度も引き続きひらかたポイントを直接付与する。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 234

事務事業名称	楽寿荘維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2000(H12)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	老人福祉法第20条の7、枚方市立老人福祉センター楽寿荘条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	楽寿荘利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	楽寿荘を利用する利用者が、安全・快適に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	楽寿荘利用者が、施設を安心して安全快適に利用することができ、心身の健康と福祉の増進を図っている。				
事業概要	<p>【施設概要】老人福祉法第20条の7に規定する老人福祉センター。                  施設を市民活動の場として提供するとともに、主に高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーション等の事業を行う。                  施設の管理は、直営で実施しており、受付業務、屋外清掃等業務はシルバー人材センターに委託。利用時間は、午前10時から午後8時30分(毎週木曜日及び年末年始は休館)。老朽化による改修工事のため、平成22年8月31日より一時休館。23年4月1日にリニューアルオープン。</p>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	楽寿荘が適正に維持管理されている。				インプット (活動)	必要な保守点検等を実施する。			
	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合 【決算額:決算額/当初予算額×100】	保守点検や修繕、補修工事の件数								
指標設定	指標種類					単位	%	減少することが良いとされる指標				単位	件	減少することが良いとされる指標	
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	13	11	11	12		
	実績					24.59	143.15	49.11		8	9	7			
達成度									136%						

## 3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.40
再任用	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	8,073	8,342	8,160		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	8,073	8,342	8,160		
	物件費計	12,996	12,743	13,500	15,210	88.8%
	歳出計	21,069	21,085	21,660		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	615	1,077	1,384	2,147	
	市債	0	0	0	0	
	その他	42	549	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,172	1,626	1,384	2,147	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	11,824	11,117	12,116	13,063	

## 5. 総括的分析

総括的分析	雨樋や裏口の門扉の修繕を行った。 楽寿荘の年間延べ利用者数は19,500人で、前年から増加した。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、利用者が、安全・快適に施設を利用できるよう必要な施設保全や保守点検を実施するとともに、施設の一層の利用促進に向けた取り組みを検討していく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 235

事務事業名称	敬老事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1968(S43)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	高齢者			
	サブターゲット	高齢者福祉に関心と理解が少ない市民			
	ターゲットが抱える課題	高齢者向けのイベントが少なく、日ごろの楽しみや生きがいを創出する機会が必要。			
	ターゲットが抱える課題	高齢者を敬愛し、長寿を祝うことにより、市民が広く高齢者福祉に関心と理解を深める機会が必要。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民が広く高齢者福祉に関心と理解を深めるとともに、高齢者自ら、生きがいをもって生活できるよう高い意欲を持っている状態。				
事業概要	<p>毎年9月を高齢者保健福祉月間として啓発イベント等を開催する。</p> <p>①「敬老のつどい」を開催 一部: 高齢社会憲章朗読、優良老人クラブ・優良ひとり暮らし老人会の表彰、高齢者保健福祉月間啓発標語の特選作品の発表と表彰、 「敬老の日」にちなんだ小学生の作文発表等 二部: 老人クラブカラオケショー、プロによるアトラクション(アトラクションは委託)</p> <p>②長寿祝品の配付 満年齢で米寿(88歳)の方に長寿をお祝いする記念品を届ける。</p> <p>③最高齢者、100歳高齢者祝福訪問 最高齢者と100歳を迎える方を市長または市の理事者が訪問し、祝い状及び祝品を贈呈。</p> <p>④高齢者保健福祉月間啓発標語の募集 市民に呼びかけて標語を募集し特選・入選作品を決定し、賞状・記念品を贈呈するとともに、敬老のつどいで発表</p>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		市民の高齢者福祉に対する関心と理解、また、高齢者の生きがいや意欲の向上が図られる。				多くの市民が高齢者福祉に関心を持つ。				「敬老のつどい」を開催する。			
指標設定	指標説明	「敬老のつどい」参加者の満足度 【算出式: 「満足」と回答した人数 / 回答人数 × 100】				「敬老のつどい」の参加者数				「敬老のつどい」など敬老事業の広報等による周知回数			
		単位 %				単位 人				単位 回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	93	93	93	93	320	320	320	320	13	13	13	13
実績	0	0	88		0	9	184		13	13	3		
達成度	95%				58%				23%				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		市民の高齢者福祉に対する関心と理解、また、高齢者の生きがいや意欲の向上が図られる。				高齢者自らの生活の向上に努める意欲が高まる。				満年齢で米寿(88歳)の方に長寿をお祝いする記念品を届ける。また、最高齢者と100歳を迎える方を市長または市の理事者が訪問し、祝い状及び祝品を贈呈する。			
指標設定②	指標説明	「敬老のつどい」参加者の満足度【算出式:「満足」と回答した人数/回答人数×100】				米寿祝品の配付人数及び、最高齢者と100歳高齢者祝福事業の人数				「米寿祝品の配付」及び「100歳高齢者祝福訪問」など敬老事業の広報等による周知回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	93	93	93	93	2,059	2,291	2,597	3,050	13	13	13	13
	実績	0	0	88		1,912	2,011	2,001		13	13	13	
達成度	95%				77%				100%				
ロジックモデル③		市民の高齢者福祉に対する関心と理解、また、高齢者の生きがいや意欲の向上が図られる。				応募作品の中から特選・入選作品を決定し、賞状・記念品を贈呈するとともに、敬老のつどいで発表する。				高齢者保健福祉月間啓発標語を募集する。			
指標設定③	指標説明	「敬老のつどい」参加者の満足度【算出式:「満足」と回答した人数/回答人数×100】				高齢者保健福祉月間啓発標語の応募件数				「高齢者保健福祉月間啓発標語の募集」など敬老事業の広報等による周知回数			
		単位		%		単位		件		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	93	93	93	93	36	36	36	36	13	13	13	13
	実績	0	0	88		17	17	130		13	13	14	
達成度	95%				361%				108%				

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.55
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	3,190	3,143	4,297		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,190	3,143	4,297		
	物件費計	2,299	2,781	4,082	4,544	89.8%
歳出計	5,489	5,924	8,379			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源(物件費に充当されるもの)	2,299	2,781	4,082	4,544		

## 5. 総括的分析

総括的分析	<p>①「敬老のつどい」 枚方市総合文化芸術センター関西医大小ホールにて開催。</p> <p>②長寿祝の配布 満年齢で米寿(88歳)の方1,917人に記念品(飯碗)を送付。</p> <p>③最高齢者、100歳高齢者祝福事業 最高齢者(男女)を訪問し花束と記念品を贈呈。100歳を迎える方82人にお祝い電報を送付。</p> <p>④高齢者保健福祉月間啓発標語の募集 130作品の応募があり、特選1作品、入選2作品を選定。 各種事業の実施により、高齢者を敬愛するとともに、高齢者福祉への関心と理解を深めることに寄与できた。</p>
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	令和5年度は令和4年度と同様の手法により事業実施予定。今後の敬老のつどいの在り方について、関係各課と検討していく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 236

事務事業名称	枚方市シルバー作業所維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1993(H5)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市シルバー作業所利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	枚方市シルバー作業所の利用者が、安全・快適に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市シルバー作業所利用者が、施設を安心して安全快適に利用することができ、心身の健康と福祉の増進を図っている。				
事業概要	【施設概要】高齢者に就業の拠点を提供し、高齢者の生きがいを高めるとともに、その能力をいかした活力ある地域社会作りに寄与することを目的とした施設。 施設設備の維持管理のため、各種保守点検業務等を委託により実施している。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						枚方シルバー作業所が適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				保守点検や修繕、補修工事の件数。			
	指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	12	17	11	11
	実績					66.30	111.09	6.85		10	11	10	
達成度									109%				

## 3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,393	2,357	2,344		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,393	2,357	2,344		
	物件費計	14,382	5,296	5,094	8,600	59.2%
	歳出計	16,775	7,653	7,438		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	462	0	604	504	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	462	0	604	504	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	13,920	5,296	4,490	8,096	

## 5. 総括的分析

総括的分析	保全計画に基づく給水設備更新工事を予定していたが、不調により次年度に繰越となったため、事業費が当初予算額を大幅に下回った。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き施設整備の維持管理を適正に行う。



事務事業名称	高齢者のICT利用促進事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3	○	R4	○	R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	R3年度(2021年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等					
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	スマートフォン等を保有しているが、十分に活用できていない高齢者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	スマートフォン等のICT機器を十分に活用できないため、市政情報などの迅速かつ適切な取得が難しい			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	高齢者等がスマートフォン等のICT機器を活用し、市政情報などを迅速かつ適切に取得しながらいきいきと暮らせる状態				
事業概要	スマートフォンなどのICT機器の活用は、生活の利便性を向上させるだけでなく、災害などの危機事象発生時においては、市からの情報を迅速に取得して適切な避難行動につなげることができるため、民間事業者などと連携したスマートフォン講座の開催などにより、高齢者のICT活用をソフト面でサポートする体制の充実を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		高齢者がスマートフォン等のICT機器を活用し、いきいきと暮らせる。				高齢者等がスマートフォン教室等に興味を持ち参加する。				通信事業者等と連携し、スマートフォン教室などを開催する。			
指標設定	指標説明	スマホ教室参加者等へのアンケートで「以前よりもスマホ等を使えるようになった」と回答した人の割合				スマートフォン教室などへの参加者数				スマートフォン教室などの開催回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	-	-	60	70	-	-	150	160	-	-	50	50
実績	-	-	83.40		-	-	261		-	-	27		
達成度	139%				174%				54%				
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		高齢者がスマートフォン等を活用し、「新しい生活様式」を実践しながらいきいきと暮らせる。				アプリを活用し、ひらかたポイントを獲得することなどを通じて、スマートフォン等の操作に慣れる。				通信機器を保有して、スマホや、いわゆるガラケーのみを保有している高齢者が通信事業者のサポートを受け、本市アプリ等をダウンロードする			
指標設定②	指標説明	モニター期間終了時のLINE公式アカウントの登録者数(モニター期間開始前との差)				付与したひらかたポイント				高齢者モニター協力者数			
		単位		人		単位		pt		単位		人	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	-	1,000	-	-	-	3,000,000	-	-	-	1,000	-	-
実績	-	616	-	-	-	1,382,000	-	-	-	616	-	-	
達成度	-				-				-				

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.39
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	2,750	3,047		
	会計年度任用職員	—	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	—	2,750	3,047		
物件費計	—	1,389	0	0		
歳出計	—	4,139	3,047			
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	—	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	—	1,389	0	0		

### 5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度は、市内生涯学習市民センター等において26回、総合福祉センターで1回スマートフォン講座を開催した。、261人参加され、約8割の受講者が講座の内容に満足し、高齢者のICT活用に支援できた。
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和3年度に、「新しい生活様式」に係る高齢者のICT利用促進事業として4者と「高齢者のICT利用促進に向けた連携・協力に関する協定書・覚書」を締結し、継続して無料でスマートフォン教室を実施してもらっていた。スマホ教室は維持していくが、令和5年度からは、国の令和4年度第2次補正予算、総務省「デジタル活用支援推進事業」（事業者が国予算（補助金）で市民に対しスマホ教室を実施したり、講師派遣をできる制度）の活用を検討する。

事務事業名称	福祉バス運行委託事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2004(H16)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	リフト付きバス利用要綱				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	福祉バスを利用する団体に加入している障害者や高齢者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	外出するための費用が負担となり、障害者や高齢者の外出する手段、機会が減少している。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	障害者や高齢者が福祉バスを利用することで、外出や社会参加の機会が増え、健やかに生きがいを持って暮らすことができる。				
事業概要	総合福祉センターの送迎に供しない日を、福祉バスとして利用している。 1. 福祉バス運行日 金曜日、日曜日 2. 送迎バス運行日 火曜日、木曜日				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	障害者や高齢者の外出や社会参加が増える。				アウトプット (活動結果)	福祉バスが運行される。				インプット (活動)	福祉バスの運行を委託する。			
	指標説明	福祉バスの延べ利用者数				福祉バスの利用実績件数				福祉バスの運行可能日数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	2,340	2,340	2,340	2,340	90	90	90	90	100	100	100	100		
	実績	0	0	617		0	0	25		18	9	41			
	達成度	26%				28%				41%					

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	798	786	781		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	798	786	781		
	物件費計	13,585	12,375	14,003	14,300	97.9%
	歳出計	14,383	13,161	14,784		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	13,585	12,375	14,003	14,300	

## 5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年4月から10月まで利用を中止していた。11月から令和5年3月までの期間で、延べ617人(25回)の利用があった。
-------	--

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	バスの老朽化により車両の借り換えを行ったことに伴い、令和5年度より一般道のみ往復150km以内の走行に変更となった。今後も引き続き、実施方法等について検討する。

# 事務事業実績測定調査

R4調書番号 567

事務事業名称	介護保険円滑実施特別対策補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的業務事業
事業期間	2000(H12)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	大阪府介護保険低所得者利用者負担対策事業費補助金交付要綱等				
関係補助金名称	社会福祉法人利用者負担軽減事業費補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	介護保険サービスを提供する社会福祉法人			
	サブターゲット	社会福祉法人が提供する対象サービスを利用する低所得者			
	ターゲットが抱える課題	介護保険サービスの利用者負担額が経済的な負担となり、必要十分な介護保険サービスが利用できない。			
	ターゲットが抱える課題	社会福祉法人の利用者負担軽減の取り組みを促進する必要がある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	社会福祉法人が、低所得者の利用者負担額を軽減することで、必要な介護保険サービスの利用につながり、対象者が安心して生活を営むことができる。				
事業概要	<社会福祉法人の利用者負担軽減に対する補助> 介護保険サービス(介護老人福祉施設入所・通所介護・短期入所生活介護・訪問介護)を提供する社会福祉法人が、利用者負担額に対して1/4の軽減を行った場合に、軽減の額から本来の利用料収入額の1%を控除した額の50%を補助する。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						介護保険サービスを必要とする人の経済的な負担が軽減され、必要十分な介護保険サービスを利用できる。				介護保険サービスの提供を行う社会福祉法人が、低所得者の利用者負担額を軽減し、介護保険サービスの利用促進を図る取り組みに対して、補助を行う。			
指標設定	指標説明					介護保険サービス利用者数				補助金交付法人数			
	指標種類					単位   人				単位   法人			
	指標数値					R2   R3   R4   R5				R2   R3   R4   R5			
	目標 (見込み)					27   27   27				3   3   3			
	実績					27   29   35				3   2   4			
達成度						130%				133%			

## 3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,595	1,571	1,562		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,595	1,571	1,562		
物件費計	176	122	261	548	47.6%	
歳出計	1,771	1,693	1,823			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	138	97	204	411	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	138	97	204	411	
一般財源（物件費に充当されるもの）	38	25	57	137		

## 5. 総括的分析

総括的分析	今年度、補助対象となった 4法人に対して、261,000円を補助金として交付をした。
-------	--

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	国の通達及び要綱に基づく事務であることから、国の動向を注視しながら今後も取り組んでいく。

# 事務事業実績測定調書

事務事業名称	軽費老人ホーム補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市軽費老人ホーム事務費補助金交付要綱				
関係補助金名称	軽費老人ホーム事務費補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	日常生活のサポートを必要とするが、近親者によるサポートが難しい高齢者			
	サブターゲット	軽費老人ホームサービス事業者			
	ターゲットが抱える課題	安心して生活を送るためには、日常生活のサポートを受けることができる施設への入所が必要であるが、利用料の負担等に不安がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	軽費老人ホームを利用する高齢者の利用料負担を軽減することにより、安心して入所し、生活を送ることができる。				
事業概要	枚方市内に老人福祉法第20条の6に規定する軽費老人ホームを設置、運営する社会福祉法人に対し、事務費(サービスの提供に要する費用)補助金を交付する。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		メインターゲットの軽費老人ホーム利用が増加し、日常生活のサポートを受けることができる。	軽費老人ホームを利用する高齢者の利用料負担が軽減される。				軽費老人ホームを設置、運営する社会福祉法人に対し、事務費(サービスの提供に要する費用)補助金を交付する。						
指標設定	指標説明	施設に入所したい人が入所できている割合 【算出式: 当該年度入所者数/入所を希望する人の数×100】	利用料軽減額の平均月額				補助金交付施設数						
		単位 %	単位 円				単位 施設						
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標										
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5							
	目標 (見込み)	90 90 90 90	58,500 58,500 58,500 58,500	8 8 8 8									
	実績	90.15 91 94	59,006 58,559 59,242	8 8 8									
	達成度	104%				101%				0%			

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,595	1,571	1,562		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,595	1,571	1,562		
	物件費計	207,701	206,597	208,889	211,275	98.9%
	歳出計	209,296	208,168	210,451		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	207,701	206,597	208,889	211,275	

## 5. 総括的分析

総括的分析	枚方市内に8施設ある軽費老人ホームに適切な補助金を交付することで、高齢者の利用料負担を軽減することができた。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年実施していた収入認定にかかる実地検査が中止となった。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き高齢者が住み慣れた地域で地域で安心して暮らしていけるよう、適切な補助金を交付する。



# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 571

事務事業名称	公的介護施設等整備補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2013(H25)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市公的介護施設等整備補助金交付要綱				
関係補助金名称	公的介護施設等整備補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称	枚方市介護保険施設等整備審議会				
事業対象	メインターゲット	公的介護施設等の整備事業者			
	サブターゲット	介護保険施設等の入所・利用者			
	ターゲットが抱える課題	施設整備費用が負担となり、施設入所・利用を希望する高齢者のニーズに応えることができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ひらかた高齢者保健福祉計画21に基づく施設整備を促進することで、高齢者が安全・安心に、必要な施設サービスを受けることができる。				
事業概要	ひらかた高齢者保健福祉計画21に基づく整備を行う事業者に対し、補助金を交付することにより、高齢者の安全・安心な生活を確保するための公的介護施設等の基盤整備を行うもの。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)									
		公的介護施設等を利用する高齢者が、安全・安心に、必要な施設サービスを受けることができる。	公的介護施設等の整備が促進される。(介護施設の基盤整備)	公的介護施設等の整備事業者に対し、公的介護施設の基盤整備を行うための補助金を交付する。(介護施設の基盤整備)									
指標設定	指標説明	当該整備を行った施設の利用率 【算出式: 当該整備を行った施設の利用者数/当該整備を行った施設の利用定員増加数×100】	公的介護施設等整備補助金の交付により整備を行った施設の利用定員増加数 (ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)	ひらかた高齢者保健福祉計画21に基づく公的介護施設等整備補助金の交付事業者数 (ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)									
		単位	%	単位	人	単位	事業者						
	指標種類	増加することが良いとされる指標											
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	100	100	100	100	192	0	141	108	11	0	8	3
達成度	0%				0%				0%				

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.80
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	8.00

#### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,785	5,500	6,250		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	152	152		
	人件費計	4,785	5,652	6,402		
	物件費計	603,487	60,278	46,300	312,290	14.8%
	歳出計	608,272	65,930	52,702		
歳入	国庫支出金	0	7,234	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	386,477	35,701	46,295	146,693	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	209,000	1,300	0	0	
	その他	1,010	279	5	5	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	596,487	44,514	46,300	146,698	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	7,000	15,764	0	165,592	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<p>ひらかた高齢者保健福祉計画(第8期)に基づき、令和3年度に公募選定を行った地域密着型特別養護老人ホーム等の整備を行う事業者に対し、補助金を交付する予定であったが、年度内の事業完了が困難となり、令和5年度へ繰越を行った。その他、令和4年度において、特定施設入居者生活介護50床の整備事業候補者を選定したが、応募がなかった等により、未選定となっているサービスもあり、目標を下回る事となった。</p>
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<p>ひらかた高齢者保健福祉計画21(第8期)に基づき、令和3年度及び4年度に整備事業候補者を選定した各サービスの整備に向けた進捗状況を確認するとともに、引き続き、地域密着型サービス等の整備を行う事業者を公募し、介護施設等の基盤整備を進める。</p>

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 572

事務事業名称	シルバー人材センター事業費補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名	9-2.高齢者の生きがいづくりと外出支援									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1980(S55)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市補助金等交付規則				
関係補助金名称	高齢者能力活用推進事業補助金	サンセット	2022(R4)年度	～	2024(R6)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市シルバー人材センター			
	サブターゲット	枚方市シルバー人材センターの会員			
	ターゲットが抱える課題	シルバー人材センター登録会員の確保、会員の就業率の向上が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	就業の場を通じて、高齢者の生きがいづくりと社会参加が促進される。				
事業概要	枚方市補助金等交付規則に基づき補助金を交付する。 センターの設置目的である高齢者が働くことを通じた生きがいづくり、さらなる地域社会の活性化への貢献につなげていくことを効果的に支援していくため、シルバー人材センターの自主事業に対する経費の一部を補助する。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		高齢者の生きがいづくりや社会参加が促進する。				枚方市シルバー人材センターの取り組みが充実する。				枚方市シルバー人材センターの取り組みを支援するため、補助金を交付する。			
指標設定	指標説明	枚方市シルバー人材センターの各年度末登録会員数				会員の就業率 【算出式: 就業会員数/会員数×100】				補助金交付対象事業数			
		単位		人		単位		%		単位		事業	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	2,300	2,350	2,400	2,450	69.50	70	70	70	2	2	2
	実績	1,954	1,887	1,806		76.90	75.94	76.19		2	1	2	
	達成度	75%				109%				100%			

## 3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	2,393	2,357	2,344		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,393	2,357	2,344		
	物件費計	4,147	2,503	3,309	3,680	89.9%
歳出計		6,540	4,860	5,653		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		4,147	2,503	3,309	3,680	

## 5. 総括的分析

総括的分析	「補助金の見直しに関する方針」に基づく団体運営補助の廃止により、令和元年度から事業費補助となった。高齢者の知識や技能を活かした事業を通して、センターの設置目的である高齢者が働くことを通じた生きがいづくり、さらなる地域社会の活性化への貢献につなげていくことを効果的に支援する。令和4年度は、「幅広い世代の居場所づくり事業」「遊休地活用事業」の経費の一部を補助した。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き補助事業の進捗管理を行うとともに、適宜効果検証を行っていく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 573

事務事業名称	老人クラブ育成補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名	9-2.高齢者の生きがいづくりと外出支援									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1963(S38)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市老人クラブ等活動事業等補助金交付要綱				
関係補助金名称	老人クラブ活動補助金、老人クラブ連合会事務費補助		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	各単位老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会			
	サブターゲット	各単位老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会に加入している高齢者			
	ターゲットが抱える課題	老人クラブ会員数が減少している。住み慣れた地域でいきいきと暮らし、人とのつながりをもつことができる場の確保が必要。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	より多くの高齢者が老人クラブ等の社会奉仕や健康増進等の諸活動に参加することで、住み慣れた地域で健全で豊かな生活を送ることができている。				
事業概要	各単位老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会連絡会からの活動補助金申請等、老人クラブ連合会事務経費補助金申請等を受け、活動予定月数、会員数等に応じた補助金を交付し、年度末に各実績報告を受け、精算等を行う。また、国に対し補助金申請を行い補助金交付を受ける。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)			
	多くの高齢者が、住み慣れた地域で健全で豊かな生活を送ることができる。	老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会連絡会が、社会奉仕や健康増進等の諸活動を実施する。	老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会連絡会の取り組みを支援するため、補助金を交付する。			
指標設定	指標説明	補助金交付申請時の老人クラブ会員数	老人クラブ等が行った社会奉仕や健康増進等の活動月数	補助金の交付件数		
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標		
	指標数値	単位 人	単位 月	単位 件		
	目標 (見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5		
	実績	12,621 12,621 12,621 12,621	2,604 2,604 2,604 2,604	217 217 217 217		
達成度	75%		84%		84%	

## 3. 人員体制

	(人)
	R4実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	2,393	2,357	2,344		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,393	2,357	2,344		
	物件費計	21,168	20,475	18,805	23,549	79.9%
	歳出計	23,561	22,832	21,149		
歳入	国庫支出金	6,944	6,525	5,888	7,276	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	6,944	6,525	5,888	7,276	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	14,224	13,950	12,917	16,273	

## 5. 総括的分析

総括的分析	高齢者人口の増加に対比すると会員数は減少していることから、引き続き取り組みを続けていく必要がある。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会連絡会の取り組みを支援するため、補助金を交付する。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 919

事務事業名称	長寿・介護保険課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2020(R2)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	長寿・介護保険担当所管事務の適正かつ効率的な執行を図る。				
事業概要	課の運営業務				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	3.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.31
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	30,146	29,621	23,436		
	会計年度任用職員	0	0	654		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	30,146	29,621	24,090		
	物件費計	956,327	1,187,564	1,391,733	1,701,400	81.8%
	歳出計	986,473	1,217,185	1,415,823		
歳入	国庫支出金	37,153	0	0	10	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	11,817	34,786	253,545	716,536	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	825,328	1,129,468	1,115,298	1,118,960	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	873,178	1,164,254	1,368,843	1,835,506	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	83,149	23,310	22,890	0	

## 5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症に係る、介護サービス事業所等に対するサービス提供体制確保事業補助金及び、高齢者・障害者施設の従事者への定期PCR検査等の実施などに係る事務が発生した。
-------	--

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き課の所管事務の適正かつ効率的な執行を図る。